

~「子どもだけど大人」「大人だけど子ども」な人たちへのメッセージ~

LITTLE BIG

第40号 2009.3.3

発行:福島県立図書館 こどものへや

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

TEL 024-535-3218

kodomo@library.fks.ed.jp

<http://www.library.fks.ed.jp>

[Pieces - かけらたち -] 本の中の言葉

「そ う。わたしはこういうの好きとか、興味ないとか、おもしろくないとか、みんなうなずいてるけどわたしはうなずけないとか、とにかく自分の気持ちを注意深く見ててあげるの」

お姉ちゃんは亞樹のほうをふりむくことなく、ずんずん歩いていた。

「そしたら、自分に気づける。なにが好きなのか。どうしたいのか。どんなふうに生きたいのか」

『リボン』草野たき/著 ポプラ社 2007.11 913/クタ

「だ って子どもはいつだって大人に振り回される。いつどこで生まれたか、どんな大人に会ったかで、いやになるくらい左右される」(略)

「ぼくたちは、この国の大人を、信じていいですか？」

『ぼくらが大人になる日まで』岡田依世子/著 講談社 2007.12 913/オイ

「あ る日、わたしは、バーナード・ショーのこんな言葉に出会った。「眞の芸術家は、妻を餓えさせ、子供を裸足にし、七十歳になる母親に生活の手伝いをさせて、自分の芸術以外の事は何もしないのだ」

この言葉ほどわたしの琴線に触れたものはなかった。人ではなく超人だから、家族を焼き殺そうとしても、なにをしてもいいのだということを。いや、もちろんよくない。だが、世の中には自分と同じような気持ちで苦しんでいる人が他にもいる。だから、こんな格言が生まれたのだと思うと、ほんの少し気分が楽になるのだ。

『過去からの手紙』岸田るり子/著 理論社 2008.2 913/キル

復讐【revenge】

憎しみや正義感からの仕返し・報復という意味の言葉ですが、最近は“雪辱の機会”という意味での和製英語「リベンジ」として定着した感がありますね。

『復讐プランナー』

(あさのあつこ/著 河出書房新社 2008.6)

中学生の雄哉は、本好きという共通点から章司と仲良くなりますが、いじめられている章司を助けたことから、今度は雄哉もいじめのターゲットに。

ところがある日、偶然(?)助けてくれた図書委員会の先輩、山田が「復讐ノートを買え。」と言います。そして、

- 1 どんな復讐がしたいか、なんでもいいから書きだし
- 2 実現の可能性が高い順に絞り込み

3 実際にどう遂行するかを考え「決して失敗しない効果的な復讐」プランを立てる。こうすることで、自分で自分を追い込まず、絶望したり自棄になったりせず、冷静に自分を保つためのガス抜きになるのだと。雄哉は章司と共に復讐計画を開始します…。

巻末には、著者による“復讐プランナー養成講座”があり、より具体的に教えてくれます。

いじめに対処するポイントは、

冷静になる、ぎりぎりまで無理しない、反応しない、こと。いじめに限らず、いろんな場面で使えそうですね。

スカイエマの挿絵がかっこいい軽く読める1冊。新年度スタートのお供としてもおすすめです。

ヤングアダルトコーナーにいかが？

~ 公共図書館、学校図書館などヤングアダルトコーナーの選書の参考に ~

早いもので、もう年度末。改めて書架を見直す機会もあるかと思います。

そこで、今年度、児童文学関係の雑誌『子どもの本棚』(月刊)、『こどもとしょかん』(季刊)、『子どもと読書』(隔月刊)に、書評や新刊案内で掲載された本の中から、中学生以上向けのものを紹介します。



それぞれの視点で選ばれた本たちですが、皆さんの書架の一冊となっていますでしょうか？

複数誌に掲載されたもの

『ペニー・フロム・ヘブン』	ジェニファー・L・ホルム/著	ほるぷ出版	2008.7
『ガッチャ！』	ジョーダン・ソーネンブリック/著	主婦の友社	2008.1
『戸村飯店青春100連発』	瀬尾まいこ/作	理論社	2008.3
『ムーンレディの記憶』	E. L. カニグズバーグ/作	岩波書店	2008.10
『路上のヒーローたち』	エリザベス・レアード/作	評論社	2008.8

その他 (紙面の都合により割愛しています)

書名	著者名	出版社	出版年
四人の兵士	ユベール・マンガレリ	白水社	2008.8
あなたはそっとやってくる	ジャクリーン・ウッドソン	あすなろ書房	2008.3
暗黒天使メストラール	クリフ・マクニッシュ	理論社	2008.5
ウタノタネ - だれでも歌人、どこでも短歌	天野慶	ポプラ社	2008.2
片手いっぱいの星 (復刊)	ラフィク・シャミ	岩波書店	2008.10
学校がアホらしいキミへ	日垣隆	大和書房	2008.2
希望の戦争	マーシャ・フォーチャック・スクリバック	ポプラ社	2008.4
詩の玉手箱	三木卓(編/解説)	いそっぷ社	2008.4
シュワはここにいた	ニール・シャスタマン	小峰書店	2008.6
睡蓮の池 - ステフィとネッリの物語	アニカ・トール	新宿書房	2008.5
ともしびをかかげて上・下(岩波少年文庫)	ローズマリ・サトクリフ	岩波書店	2008.4
失くした記憶の物語	ガブリエル・ゼヴィン	理論社	2008.4
猫たちの冬	ヴォルフガング&ハイケ・ホールバイン	ポプラ社	2008.2
パワー 西のはての年代記3	ル=グウィン	河出書房新社	2008.8
辺境のオオカミ (岩波少年文庫)	ローズマリ・サトクリフ	岩波書店	2008.10
ホーミニ・リッジ学校の奇跡！	リチャード・ペック	東京創元社	2008.4
メジルシ	草野たき	講談社	2008.5
夢の彼方への旅	エヴァ・イボットソン	偕成社	2008.6
ルウとおじいちゃん	クレール・クレマン	講談社	2008.8
ユゴーの不思議な発明	ブライアン・セルズニック	アスペクト	2008.1